

児童福祉文化財とは

厚生労働省社会保障審議会[※]では、児童の福祉の向上を図るため、幼児向けの絵本や小学生および中高生向けの図書、保育士や児童館職員が保育や指導を行う上で参考になる出版物をはじめ、家族で楽しめる演劇や児童劇、ミュージカルなどの舞台芸術作品、映画や放送テレビなどの映像・メディア等の優れた作品について推薦しています。

毎年推薦された児童福祉文化財は年報にて紹介しています。年報は児童福祉文化財特設ページからダウンロードできます。

※令和5年度よりこども家庭庁のこども家庭審議会に移管しました。

児童福祉文化財のページはこちらから!



児童福祉文化賞とは

こども家庭庁では、5月5日の「こどもの日」から一週間を児童福祉週間と定め、こどもたちの健やかな育成について国民全体で考えることを呼びかけています。児童福祉文化賞はこの児童福祉週間の関連事業です。

厚生労働省に設置される社会保障審議会[※]で推薦された作品の中から、特に優れた児童福祉文化財に大臣表彰を行い、永くその栄誉を称えとともに、児童福祉文化の振興を図ることを目的として実施しています。

「出版物」「舞台芸術」「映像・メディア等」の3部門について「児童福祉文化賞」と「児童福祉文化賞推薦作品」を選定、表彰するとともに、児童の健全育成に貢献した活動に対しても「特別部門」として「児童福祉文化賞」を表彰しています。

※令和5年度よりこども家庭庁のこども家庭審議会に移管しました。



令和5年度 児童福祉週間ポスター

こども家庭庁とは

こどもまんなか
こども家庭庁

常にこどもの最善の利益を第一に考え、こどもに関する取組・政策を我が国社会の真ん中に据えた「こどもまんなか社会」を、こどもの視点で、こどもを取り巻くあらゆる環境を視野に入れ、こどもの権利を保障し、こどもを誰一人取り残さず、健やかな成長を社会全体で後押しする。そのための新たな司令塔として、こども家庭庁は令和5年4月1日に発足しました。

令和5年度より、児童福祉文化財の推薦審議は、こども家庭庁に置かれるこども家庭審議会に引き継がれます。



令和5年度
児童福祉週間 標語
竹島一輝さん
(15歳 兵庫県)

受賞作品の紹介

舞台芸術部門



らふいゆ れふいゆ
ラストラダカンパニー
●演劇
●小学生以上、保護者・指導者等、一般(啓発)



児童福祉文化賞

ギャング・エイジ
株式会社劇団風の子中部
●演劇(現代劇)
●小学生、中学生、一般(啓発)

映像・メディア等部門



1640日の家族
有限会社ロングライド
●ドラマ102分
●小学校高学年以上、
●保護者・指導者等、一般(啓発)

特別部門



児童福祉文化賞

さかなクン
児童福祉文化の普及・啓発に貢献してきた活動
児童福祉週間のこいのぼり掲揚式への出席、こども向け講座の開催、こども霞が関見学デーへの出演など中央省庁の取組に積極的に協力し、児童福祉文化へ貢献してきた
©2023 ANAN. And Tm.
【職業】
国立大学法人 東京海洋大学名誉博士・客員教授
【主な著書】
『さかなのなみだ』リヨン社 2007年
『さかなクンの一魚一会〜まいにち夢中な人生!〜』講談社 2016年
『ハコフグのねがい』講談社 2022年
『さかなクンのギョギョッとサカナ★スター図鑑』講談社 2022年
他多数

出版物部門



ぼくは川のように話す
株式会社偕成社
●文：ジョーダン・スコット
●訳：原田勝
●絵：シドニー・スミス
●小学校中学年以上



命の境界線
保護されるシカと駆除される鹿
合同出版株式会社
●著：今西乃子
●写真：浜田一男
●小学校高学年、中学生



笹森くんのスカート
株式会社講談社
●作：神戸遥真
●中学生以上



草はらをのぞいてみればカヤネズミ
日本でいちばん小さなネズミの物語
株式会社小学館
●文：ゆうきえつこ
●写真：福田幸広
●小学校中学年



火星は...
株式会社あすなろ書房
●文：スザンヌ・スレード
●訳：千葉茂樹
●監修：三河内岳
●小学校高学年以上



人と動物の日本史図鑑
① 旧石器時代から弥生時代
② 古墳時代から安土桃山時代
③ 江戸時代
④ 明治時代から昭和時代前期
⑤ 昭和時代後期から令和時代
株式会社少年写真新聞社
●著者：小宮輝之
●編集・執筆：阿部浩志
●イラスト：境洋次郎
●小学校高学年以上



すがたをかえるたべものしゃしんえほん
のりができるまで
酢ができるまで
日本酒ができるまで
せんべいができるまで
あめができるまで
株式会社岩崎書店
●構成・文：宮崎祥子
●写真：白松清之
●小学校中学年以上



鳥は恐竜だった
鳥の巣からみた進化の物語
株式会社アリス館
●作・絵：鈴木まもる
●小学校中学年以上



かみなり
株式会社ポプラ社
●監修：妹尾堅一郎
●協力：音羽電機工業
「雷写真コンテスト」
●小学生以上